

平成 30 年度 第 1 回天王寺区教育会議（議事要旨）

日 時：平成 30 年 9 月 25 日（火）19 時～20 時

場 所：天王寺区役所 講堂

出席者：東尾委員・頓名委員（天王寺中）、町頭委員・藤田委員（夕陽丘中）、黒田委員（高津中）、角野委員（大江小）、東浦委員・下村委員（聖和小）、高添委員・樋口委員（五条小）、東委員（生魂小）、服部委員・栗本委員（桃陽小）、角谷委員（味原小）、山口委員（真田山小）／〔学校〕藤尾校長（大江小）、中務校長（夕陽丘中）／〔区役所〕西山区長、吉村副区長、北吉課長、渡邊課長代理

○資料の概要について、北吉課長より説明。（取組みについての写真含む。）

○頂いた意見及び回答

➤校長経営戦略支援予算（区担当教育事業執行枠）について

- ・“環境整備”について、「基盤のあるところに整備」という説明があったが、この予算を活用するには元々学校に基盤があることが必要なのか。
→「基盤のあるところに整備」とは、校内カメラ・モニターの設置について、既に設置されている学校の配線等を活用して「増設する」という意味で述べた。予算が区全体で 290 万円と限られており、内容によっては「新設」が難しいものもある。
- ・“学力・体力向上等にかかる環境整備”と校内カメラの設置は関係がないように思える。
→校内の児童の様子が職員室付近から見えにくい学校において、運動場等での子どもの様子を確認することも学校としては非常に大切なことと考えている。学校連携の取組みや、外部指導者の派遣も重要だが、環境整備については、予算状況や学校が何を優先的に考えているかも確認したうえで対応している。

➤スクールカウンセラー事業について

- ・区 CM 予算とは何か。
→区長が区シティマネージャー（CM）として予算を確保し、事業内容を決定するが事業は局が実施する予算のことである。スクールカウンセラー事業は、区が予算を確保し、こども青少年局が事業を執行している。

➤その他

- ・今年は猛暑や台風、地震と自然災害があった。熱中症対策で言うと、プール開放の関係で WBGT（暑さ指数）が測定できる温度計があれば良かったと思っている。年度ごとの予算計画はあると思うが、急遽予算が必要な時に対応できるよう柔軟に使える予算枠があればいいと思う。
→この会議で説明している項目は、区が事業執行又は予算措置しているものになるが、例えば災害対応におけるブロック塀の改修などは市教委の施設整備担当が行い、区でも情報共有や確認等行っている。柔軟に使える予算について、校長経営戦略支援予算でいえば予算に関わることは年度単位で執行計画を組む必要がある。しかしながら、緊急の状況が生じた際は、優先度を考慮した対応は考えられると思う。
- ・事業全体を見ると、発達障がいサポート事業やスクールカウンセラー事業の予算が増加し、こどもの居場所に取組むなど、子どもの状況に応じたサポートに力を入れているように思う。
→全国的にも当区でも虐待や子育てに悩む保護者が増えており、一人ひとりの状況に応じたサポートが重要になっている。課題を把握しながら、今後も取組んでいく。